

パネルディスカッション

パネルディスカッションについての
質問票はこちら



パネラー プロフィール

○今井 瑞希（いまい・みずき） 東京都生まれ
全日本運輸産業労働組合連合会（運輸労連）中央書記次長
連合中央執行委員

<組合歴>

2010年 トナミ運輸（株）入社（中途採用）
2012年 トナミ運輸労働組合特別支部委員、女性委員会委員
2013年 トナミ運輸労働組合女性委員会副委員長
2015年 トナミ運輸労働組合東神支部・支部書記長
2017年 トナミ運輸労働組合中央執行委員
2019年 全日本運輸産業労働組合連合会（運輸労連）
中央書記次長（広報部長・ジェンダー平等推進担当）
2019年10月 連合中央執行委員
2022年9月 産前産後休暇及び育児休業取得
2022年10月 第一子（女兒）誕生、（10月～2023年4月末まで配偶者が育休取得）
2023年4月より復帰
2023年 中央書記次長（労働政策部長・ジェンダー平等推進担当）



○深見 正弘（ふかみ・まさひろ） 愛知県生まれ
全国労働金庫労働組合連合会（全労金）中央執行委員長

<組合歴>

1996年 愛知労働金庫入庫
2001年 東海労働金庫労働組合執行委員
2003年 全労金中央執行委員
2005年 東海労働金庫労働組合書記長
2008年 全労金書記次長
2012年 東海労働金庫労働組合執行委員長
2014年 全労金中央執行副委員長
2015年 全労金書記長
2022年 現職



○岡本 由美（おかもと・ゆみ）

連合和歌山女性委員会委員長
情報労連和歌山県協議会副議長

<組合歴>

連合和歌山

2014年 連合和歌山青年委員会幹事
2016年 連合和歌山女性委員会幹事
2018年 連合和歌山女性委員会事務局長
2022年 連合和歌山女性委員会委員長

情報労連

2015年 情報労連和歌山県協議会幹事
2021年 情報労連和歌山県協議会 副議長
2023年 情報労連 NTT 労働組合和歌山分会 事務局長



<公職>

2017.06～ 和歌山県職業能力開発審議会
2020.04～ 和歌山県労働委員会 労働者委員

○後藤 嘉代（ごとう・かよ）

労働調査協議会 主任調査研究員



略歴：ゼンセン同盟政策局、連合総研研究員、労働調査協議会調査研究員を経て現職。主な著作に『労働組合のジェンダー平等への挑戦』（日本生産性本部生産性情報センター、2022年）。労使関係論、ジェンダー論専攻。

全労金におけるジェンダー平等の取り組み

全国労働金庫労働組合連合会
中央執行委員長 深見 正弘

1. 全労金の概要

- ◎ 全国にある13の労働金庫と、労働金庫の中央機関、労働金庫の関連会社で働く労働者で構成する労働組合の連合会組織。
- ◎ 組合員数は、9,051名（2023年6月1日現在）。
正職員：6,928名、嘱託等職員：2,123名
女性：5,354名、男性：3,697名（女性比率：59.15%）
- ◎ 役員体制
男性：17名、女性：6名（女性比率：26%、前年度31.8%、前々年度40.9%）
- ◎ 14加盟組合のうち、女性委員長4名、女性書記長3名

2. 全労金「ジェンダー平等推進方針」と「第1次ジェンダー平等推進計画」

(1) 全労金「ジェンダー平等推進方針」（2021年7月確立）

- ① すべての労働者を代表する組織体制の実現
- ② 安心して働き続けることができる職場環境の実現
- ③ 性のあり方の多様性を理解し合う社会の実現
- ④ 社会的労働運動の実践によるジェンダー平等と男女平等参画社会の実現
- ◎ 取り組み期間は、2021年10月～2030年9月（9年間）

(2) 全労金「第1次ジェンダー平等推進計画」（2022年1月確立）

- 中央執行委員会は、男女比率に応じた執行体制とします。
- 四役に複数名、かつ、三役に1名以上の女性役員を常時選出します。
- 定期大会・中央委員会は、男女比率に応じた参画とします。
- DVについて、関連する支援団体との連携に取り組みます。
- 中央労使協議会は、女性役員を1名以上選出します。
- SOG Iについて、多様性を理解する等、学習機会を設定します。
- ハラスメントの根絶に取り組みます。
- 年複数回、執行委員長からメッセージを発信します。
- 全労金「ジェンダー平等社会・実現宣言」を実施します。
- 単組・県域組織における会議時間を、平日・業務時間内で開催します。

3. DV被害者支援の取り組み

《取り組みのきっかけ》

- ◎ 連合が2019春季生活闘争方針から「DV被害者支援の環境整備」を提示
⇒ 全労金2019春季生活闘争方針でも「DV被害への対応」を方針化
- ◎ 新型コロナウイルス感染症による影響
⇒ 生活困窮やDV被害（※定額給付金の受け取りが世帯主）が顕在化

《全労金の取り組みを決定（※2022年7月）》

- ◎ ステップ1 ～ 学ぶ ～ ⇒ 全単組で実施
- ◎ ステップ2 ～ 知る ～
- ◎ ステップ3 ～ 考える ～
- ◎ ステップ4 ～ 行動する ～ ⇒ 「相談窓口設置」
「失効年休積立使途追加」

4. 東京レインボープライドへの参画

《参画のきっかけ》

- ◎ 連合「性的指向・性自認に関する差別禁止に向けた取り組みガイドライン」
- ◎ 全労金「性的指向・性自認への対応方針」（2020年3月）
- ◎ 全労金「ジェンダー平等推進方針」
- ◎ 連合・全国ユニオンさんからの呼びかけで、2022年4月から参画
- ◎ 産別でレインボーフラッグを、2023年6月に作成し、定期大会で掲示

5. 第72回定期大会（2023年8月）

- ◎ 大会代議員の男女比率が50%に（パリテの達成）
⇒ 組合規約の改正（代議員数を増加）
⇒ 第1次ジェンダー平等推進計画の達成に向けた要請
・女性参画
・嘱託等組合員の参画（各単組2名の参加）
- ◎ 構成組織における女性二役の誕生と増加
- ◎ 中央委員会は、2019年11月から男女比率50%（直近は女性が上回る）

6. 今後の課題

- ◎ 専従役員の選出
⇒ 一人ではなく、常に複数人を選出する
- ◎ 単組・県域組織における女性役員の選出
- ◎ ハラスメントの根絶
- ◎ SOGIへの対応、等々

以 上

「調査」から考える“クミジヨ”の活躍

2023年10月27日 「2023連合ジェンダー平等推進中央集会」
労働調査協議会 後藤嘉代

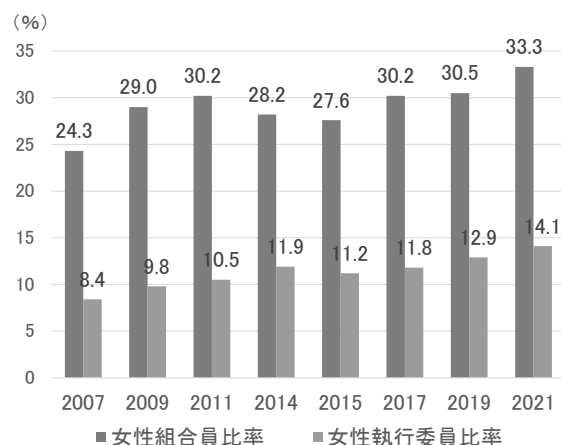
1

1. 女性役員の選出

- 単組女性執行委員比率(民間):14.1%
(女性組合員比率は33.3%)
- 女性役員ゼロ組織の減少、複数選出組織の増加
- 女性三役選出の遅れ(民間、2021年)
—女性三役選出割合8.2%、女性三役比率6.6%

組合役員を継続的に複数選出できる組織と1人も選出できない組織の二極化。
執行委員選出の次のステップは三役選出。

データ出所:連合「女性の労働組合活動への参画に関する調査」(単組)



2

(1) 女性役員選出の効果

① 労働組合にとって

■ 女性組合員の参画

- ・ 定期大会や職場討論会といった組合活動への女性の参加が増えている。
- ・ オルグ等で女性から声をかけられることが増え、意見交換する機会が増えた。
- ・ 生理休暇の取得運用など、男性執行委員には言いにくいこと、気づかないことが意見として出されるようになった。

■ 組合活動スタイルの見直し

- ・ 昼休み時間を利用するなど、会議時間の見直しをした。また、会議途中で軽食を入れるようにして、会議後の懇談会を廃止した。
- ・ 中央主催の会議体については、終了予定時間を事前に伝え、時間内で収まるような進进行を心がけるようになった。

■ 労働組合の男女平等参画の取り組みの進展

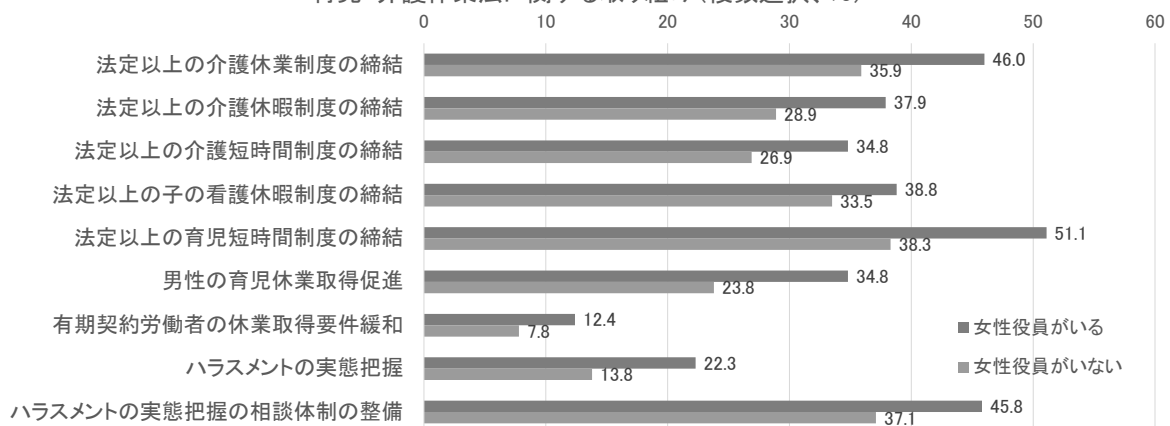
- ・ 単組全体で男女共同参画の意識が少しずつ高まった。
- ・ 男女平等、女性活躍に対する組合員の意識向上がはかられた。

データ出所: 連合「女性の労働組合活動への参画に関する調査」(単組、2019)

3

② 職場の男女平等の実現にとって

育児・介護休業法に関する取り組み(複数選択、%)

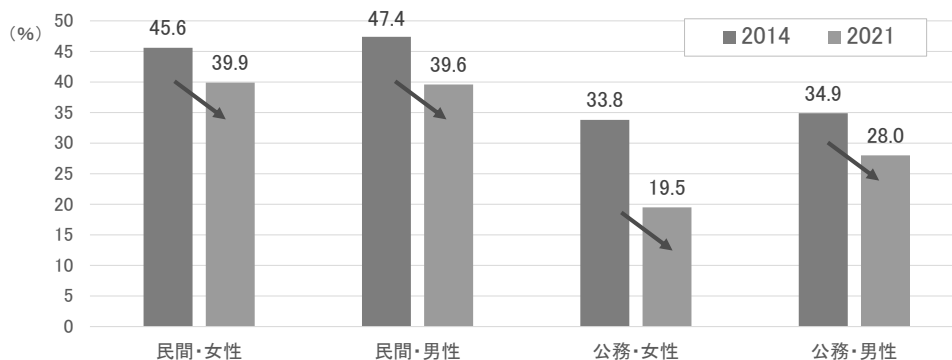


データ出所: 連合「女性の労働組合活動への参画に関する調査」(単組、2019)

4

(2) 組合役員からみた「女性参画」の変化

- 最近経験したこと「女性が組合活動に積極的に参画できるような配慮が十分ではない」
—“経験する”(「よく経験」+「ときどき経験」)する比率



データ出所: 労調協「第4回(2014)／第5回(2021) 次代のユニオンリーダー調査」

5

2. 女性役員選出に立ちはだかる3つの障壁

第4回次代のユニオンリーダー調査(2014年)から明らかになった課題

(1) (男性に比べて)早い選出

—組合経験だけでなく、社会人経験も少ないまま組合役員に選出

(2) 仕事と家庭生活、組合活動との鼎立

—女性だけでなく男性にとっても最大の悩み

(3) 担当業務の性別分離

—女性は「男女平等」、男性は「賃金・労働条件」

●男性三役の大半は「賃金・労働条件」を経験

●女性の「賃金・労働条件」経験者は三役等へのキャリアアップを念頭に置いている

6

(1) 女性役員の早い選出

● 勤続年数と、組合経験年数との差

— 男女差は縮小

		(A) 勤続年数	(B) 支部執行委員以上の経験年数	(A) - (B)
民間	女性	9.6年	2.8年	6.8年
	男性	11.1年	3.8年	7.3年
公務	女性	6.4年	1.9年	4.5年
	男性	7.2年	2.7年	4.5年

● 一般組合員時の参加状況

		参加していた計	(うち、「積極的に参加していた」)
民間	女性	50.9%	6.0%
	男性	58.0%	12.8%
公務	女性	58.6%	6.4%
	男性	62.2%	8.9%

データ出所: 労調協「第5回 次代のユニオンリーダー調査」

7

(2) 仕事と家庭生活、組合活動との鼎立

① 組合役員家族構成

● 配偶者、子どもの有無の割合は男女で大きな差

— 女性は結婚、出産したら組合役員を引き受けられないのか、
それとも、結婚、出産した女性には声をかけないのか??

		配偶者あり	子どもあり	平均年齢
民間	女性	31.8%	13.1%	33.2歳
	男性	64.1%	50.9%	35.1歳
公務	女性	33.3%	17.5%	31.5歳
	男性	60.6%	47.4%	33.2歳

データ出所: 労調協「第5回 次代のユニオンリーダー調査」

8

②組合活動における悩み

●組合活動を続けるうえでの悩みや不満(複数選択、支部執行委員以上計で5%以上の回答)

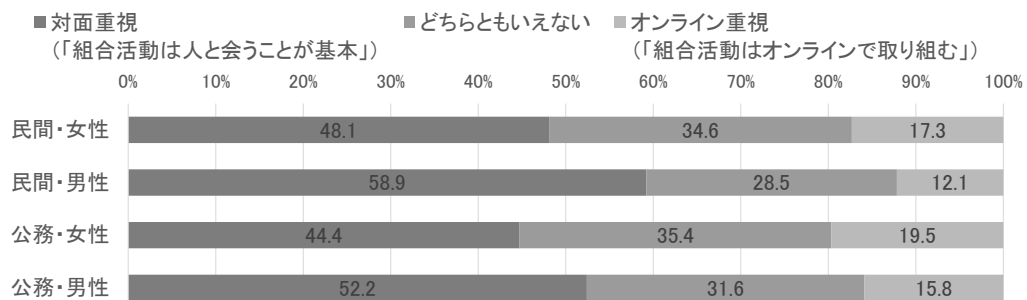
		仕事や職場の変化についていけない	今後の仕事上の昇進・昇格が心配	組合が忙しくて仕事に支障をきたす	自分の時間や家庭生活が犠牲になる	仕事が忙しくて組合業務ができない	組合活動の成果が感じられない	組合の方針や姿勢に疑問を感じる	役員の悩みを相談する相手がいない	他組合の役員と接する機会が少ない	今後の組合役員としての将来が心配	組合員と接する機会が少ない	代わりがないのでやめられない	自分は役員・委員に向いていない	とくに悩みや不満はない
民間	女性	22.3	12.7	14.5	38.5	21.9	16.3	7.4	8.8	15.5	16.6	14.8	26.9	17.7	13.1
	(2014)	30.8	14.8	15.2	52.4	18.0	17.2	9.2	12.8	11.2	16.0	19.2	26.8	20.0	7.6
	男性	20.2	16.5	24.9	48.4	29.9	21.0	12.0	7.5	12.2	17.4	14.7	28.8	14.8	10.6
	(2014)	24.8	12.7	24.4	53.3	26.3	18.0	8.8	8.2	7.8	18.6	12.4	28.7	12.8	9.5
公務	女性	5.7	2.4	18.5	40.7	23.9	19.5	7.1	6.4	8.4	9.8	10.8	19.5	21.5	18.9
	男性	12.6	7.2	24.6	47.6	26.8	20.5	10.9	6.2	7.3	13.2	12.7	19.4	17.0	15.1

データ出所: 労調協「第5回 次代のユニオンリーダー調査」

9

③オンライン活用に対する意識

●オンラインの活用に対する意識



データ出所: 労調協「第5回 次代のユニオンリーダー調査」

●構成組織調査では「参画促進のためにオンラインを活用」している組織数が減少
2022年: 33組織 → 2023年: 23組織

10

(3) 担当業務の性別分離

●これまで経験した組合業務(複数選択、「その他」、「わからない」、無回答は非掲載)

		賃金 労働 条件	産 業 経 営 対 策	組 織 対 策	安 全 衛 生	共 済	青 年	男 女 平 等	広 報 ・ 教 育	政 治	社 会 貢 献	国 際	企 画	総 務 財 政
民間	女性	37.8	12.4	25.4	29.3	29.3	24.0	32.5	33.9	23.7	21.9	3.5	14.8	14.1
	(第4回)	31.6	6.8	27.6	26.8	22.8	31.2	49.2	40.4	18.4	28.8	7.2	13.6	14.0
	男性	45.2	19.8	40.5	43.0	34.8	37.3	15.5	36.7	35.5	27.7	2.9	22.1	17.6
	(第4回)	46.2	16.4	38.8	41.9	34.3	39.4	13.0	37.0	28.0	28.4	4.1	19.7	18.1
公務	女性	29.6	16.5	14.8	11.8	14.1	43.4	14.5	20.2	5.4	5.4	1.0	6.1	7.4
	男性	43.7	27.1	29.2	20.0	26.0	52.7	13.1	23.9	15.9	11.5	3.2	11.8	14.1

データ出所: 労調協「第5回 次代のユニオンリーダー調査」

11

「調査」からみた“クミジヨ”活躍の突破口

- 新入組合員からのアプローチ
- 男性の仕事と家庭生活、組合活動との鼎立
- オンラインの活用の仕方の検討
- 男性も「男女平等」の領域へ
- 「多様性」への対応

12

MEMO